



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年1月27日

上場会社名 株式会社 ジーダット

上場取引所 東

コード番号 3841 URL <https://www.jedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 松尾 和利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 太田 裕彦

TEL 03-6262-8400

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,482	5.1	203	22.5	237	18.2	197	77.0
2022年3月期第3四半期	1,410	4.7	166	112.9	200	173.9	111	155.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	51.22	51.22
2022年3月期第3四半期	28.98	28.98

(注)2022年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,456	3,233	72.5
2022年3月期	4,331	3,110	71.8

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 3,233百万円 2022年3月期 3,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		40.00	40.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2022年4月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

(注)2022年3月期期末配当金内訳 普通配当30円00銭 記念配当(上場15周年記念の記念配当)10円00銭

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	6.4	260	18.8	320	15.8	270	59.5	70.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	3,909,800 株	2022年3月期	3,905,800 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	60,472 株	2022年3月期	60,472 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	3,848,433 株	2022年3月期3Q	3,843,453 株

(注)2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における当社の主要顧客である電子部品業界は、最終製品の需要減少等の影響で、スマートフォン向けやPC向け等の分野において供給過多の状況が継続しております。車載向けや生産機械向け等の一部の分野において供給不足の状況が残っているものの、業界全体としては景気後退の基調に突入しており、先行き不透明感が深まりつつあります。

このような状況の中当社は、6月および12月に当社の主力製品であるSX-Meisterの新バージョンをリリースし、アナログ半導体向けの設計自動化機能等の機能拡張を行いました。7月にはFPD (Flat Panel Display) 向けにおいて、最新のアルゴリズムを導入した高精度・高速解析ツールを開発しました。製品の販売促進活動においては、11月にハイブリッド形式で「JEDAT Solution Seminar」を開催して、各製品の最新情報や将来計画等の発表を行いました。またデバイス設計受託やソフトウェア設計受託等のソリューションビジネスにおいては、高まる需要に柔軟に対応した結果、売上が順調に推移しました。更に海外市場向けの販促活動においては、堅調な投資活動の影響で、売上を伸ばすことができました。

こういった活動の結果、売上高が14億82百万円（前年同四半期比5.1%増）となり、営業利益は2億3百万円（前年同四半期比22.5%増）となりました。経常利益は、助成金収入に加えて円安による為替差益等を計上したことにより、2億37百万円（前年同四半期比18.2%増）となり、四半期純利益は外国税額控除を適用したこと等により、1億97百万円（前年同四半期比77.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末と比較して1億24百万円（2.9%）増加し44億56百万円となりました。内訳として流動資産は1億円（2.5%）増加し41億56百万円、固定資産は24百万円（9.0%）増加し3億円となりました。

流動資産が増加した主な要因は、現金及び預金が1億38百万円（4.0%）増加し35億94百万円となったことによるものであります。固定資産が増加した主な要因は、無形固定資産が17百万円（295.8%）増加し23百万円になったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して2百万円（0.2%）増加し12億23百万円となりました。内訳として、流動負債は前事業年度末と比較して5百万円（0.4%）増加し12億19百万円、固定負債は前事業年度末と比較して2百万円（41.4%）減少し3百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、未払法人税等の計上がなかった（前事業年度末は66百万円）一方で、前受金が1億56百万円（18.7%）増加し9億89百万円となったことによるものであります。固定負債の内訳は、資産除去債務3百万円であります。

純資産は、前事業年度末と比較して1億22百万円（3.9%）増加し32億33百万円となりました。純資産が増加した主な要因は、利益剰余金の増加1億20百万円（8.1%）によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の71.8%から72.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年10月28日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の個別業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,456,311	3,594,937
受取手形及び売掛金	367,870	306,663
電子記録債権	186,072	189,821
仕掛品	3,049	475
原材料	1,411	1,059
その他	41,180	63,123
流動資産合計	4,055,895	4,156,081
固定資産		
有形固定資産	45,238	38,129
無形固定資産	6,046	23,929
投資その他の資産		
投資有価証券	108,472	116,797
繰延税金資産	69,006	67,585
その他	46,882	53,933
投資その他の資産合計	224,360	238,316
固定資産合計	275,645	300,375
資産合計	4,331,540	4,456,457
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,503	61,064
未払法人税等	66,332	—
賞与引当金	87,563	47,571
前受金	833,280	989,450
その他	119,619	121,565
流動負債合計	1,214,298	1,219,652
固定負債		
資産除去債務	6,310	3,700
固定負債合計	6,310	3,700
負債合計	1,220,608	1,223,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	761,496	762,524
資本剰余金	892,415	893,443
利益剰余金	1,485,548	1,605,776
自己株式	△28,639	△28,639
株主資本合計	3,110,820	3,233,104
新株予約権	111	—
純資産合計	3,110,932	3,233,104
負債純資産合計	4,331,540	4,456,457

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	1,410,426	1,482,605
売上原価	481,798	500,170
売上総利益	928,627	982,434
販売費及び一般管理費	762,348	778,680
営業利益	166,279	203,754
営業外収益		
受取利息	25	31
為替差益	4,365	14,508
助成金収入	19,970	20,058
投資事業組合運用益	10,322	—
その他	23	0
営業外収益合計	34,706	34,599
営業外費用		
投資事業組合運用損	—	801
その他	0	0
営業外費用合計	0	801
経常利益	200,986	237,552
特別利益		
新株予約権戻入益	—	39
特別利益合計	—	39
税引前四半期純利益	200,986	237,592
法人税、住民税及び事業税	124,284	39,037
法人税等調整額	△34,666	1,420
法人税等合計	89,618	40,457
四半期純利益	111,367	197,134

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当第3四半期累計期間における財務諸表への影響はありません。